

 24時間開館
all day long



TOYOHASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY



知の泉



2020-2022 豊橋技術科学大学附属図書館概要

進化する大学図書館



ΑΛΗΘΕΙΑ(アレーティア)の銘板



豊橋技術科学大学附属図書館
第18代館長

角田範義

日本の「図書館法(1950年制定)」によれば、図書館とは、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」と日本図書館協会のHPにあります。そして、図書館を構成する要素としては、「資料」、それを利用する「利用者」、資料を整理、保存して利用に供する場としての「施設」があり、その中で、大学図書館は、その大学の学生・教職員の学修・研究に必要な資料を保存し提供する組織として位置づけられています。

2017年、図書館のスペースが大規模に改修されました。特徴は、1Fの図書館本体と一体化した大屋根付きの屋外スペースです。これにより1Fは屋内一屋外の一体化が図られ、様々な空間での“active learning”が可能になりました。そこでは、グループ学修を可能とする、コラボレーションエリア、グローバルレクチャーエリア、スタディサポートエリアを整備し、様々な目的の利用を推進しています。そして、男女共同参画の立場から女性専用休憩室や更衣室兼パウダールームを整備し、女性教職員・学生に対する支援を行っています。このリニューアルにより、図書館に対する親しみやすさがわかり、利用者増につながっているものと思います。2F、3Fは従来の学術図書を配置し、大学での学術・研究を支える場として利用されています。

さて、皆さんは本校図書館の銘板“ΑΛΗΘΕΙΑ:アレーティア”(ギリシャ語)をご存知ですか。意味は“真理”であり、本学図書館が真理探究を行う場であると初代図書館長小林陽太郎先生が理念と掲げました。それから、図書館は真理を探究する教職員を支援する場として歩んできました。近年は、資料の提供だけではなく情報発信、学生の情報利用を支援するプログラム、地域の公共図書館支援、地域住民への開放や情報提供など、さまざまな活動を担っています。図書館の位置づけは時代ごとに変っていますが、知の拠点としての役割は一貫しています。大型コレクションとして「ドイツ表現主義コレクション」、「19世紀英国議会文書:ブルー・ブック」がありますが、技術科学を掲げる豊橋技術科学大学の図書館として「技術科学」にかかわる特徴あるコレクションが収集できればと考えています。

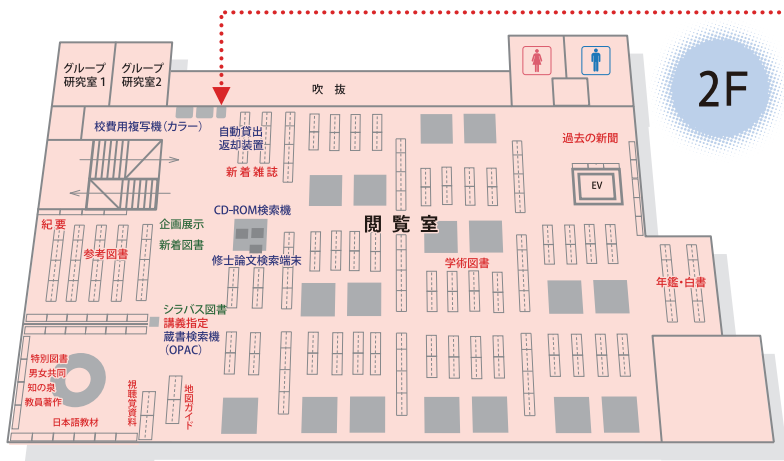
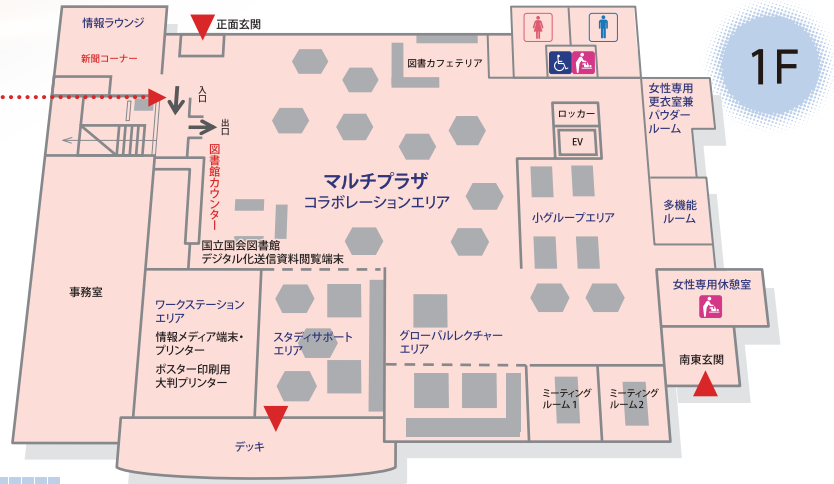
施設案内

Facilities

図書館は、平成29年3月のリニューアルにより、1階は個人・グループの学修や留学生・企業・地域との交流等に利用できるマルチプラザとなり、2階と3階は、従来の図書館と同様に参考図書、学術図書、雑誌等を配架し、資料閲覧や学修に利用できる図書館エリアとなっています。



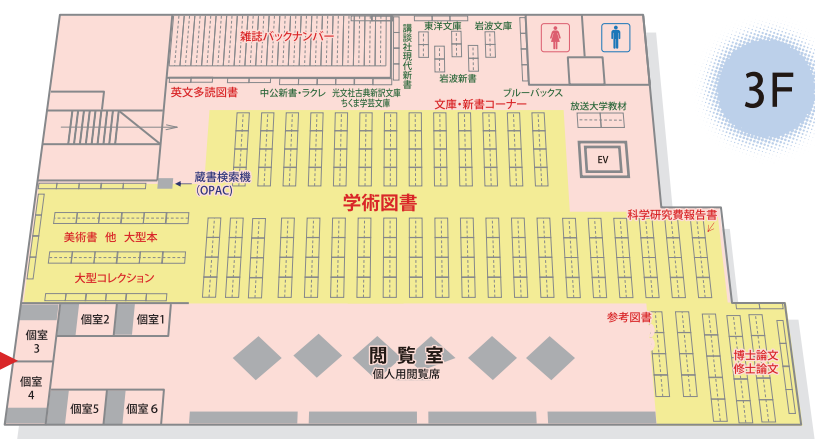
入館ゲート



自動貸出返却装置



個室内部



3F

1F

コラボレーションエリア,グローバルレクチャーエリア,スタディサポートエリア,女性支援エリア,ワークステーションエリア等で構成されるマルチプラザとなっています。



デッキ

テント下



カウンター



ワークステーション



女性休憩室



カフェ

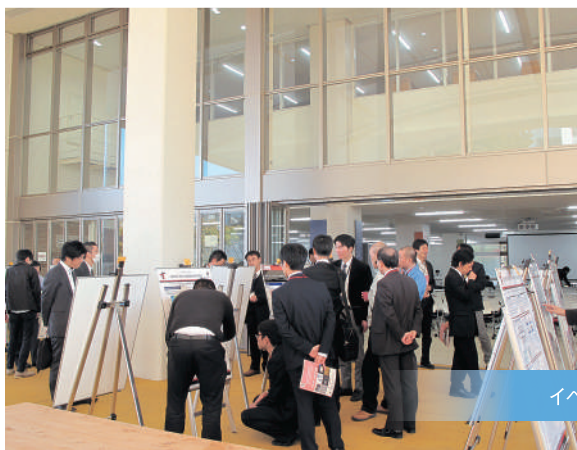


Multi Plaza

コラボレーションエリア



グローバルレクチャーエリア



イベント



Collaboration Area

2F

雑誌,参考図書,新着図書,学術図書等を配架し,情報検索用端末やグループ研究室も設置しています。



3F

大型コレクション,新書・文庫,学術図書,雑誌のバックナンバー等を配架し,学修用個室も設置しています。



利用案内

Information

利用サービスの特徴

図書館は,各種電子資料を含む学術情報の収集・保存・提供,あるいは学修の場の提供を通じて本学における教育・研究・学修活動を支援しています。本学学生・教職員に対しては,利用機会の拡大を図るため,**24時間サービス(特別開館)**を実施しています。また,一般市民にも開放し,閲覧のみでなく資料の貸出を行うなど地域貢献にも努めています。

開館時間〈詳細は図書館HP(<http://www.lib.tut.ac.jp/>)をご参照ください〉

月曜日から金曜日	通常開館 (有人開館)	9:00~20:00 9:00~17:00(休業期間)	特別開館 (無人開館)	左記以外の時間帯
土曜日	通常開館 (有人開館)	13:00~17:00	特別開館 (無人開館)	左記以外の時間帯
日曜日・祝日 開学記念日10月1日	特別開館(無人開館)		終日	
閉館	月1回午前中(原則、第1木曜日)2階・3階のみ 夏季休業(8月の1週間程度) 年末年始(12月28日~1月4日)			

※特別開館は,無人対応です。グループ研究室などの施設は利用できませんが,資料は自由に利用でき,貸出・返却もできます。また,複写機,コンピュータ等の使用も可能です。

2階・3階への入館方法

1階カウンター横の入館ゲートより入館

学生及び教職員 ICカード(学生証,職員証)で入館

学外者 図書館利用証で入館
(特別開館時の利用はできません。)

貸出冊数と期間※雑誌及び参考図書は貸出できません。

教職員及び研究者 10冊 30日

学生及び研究生 7冊 20日

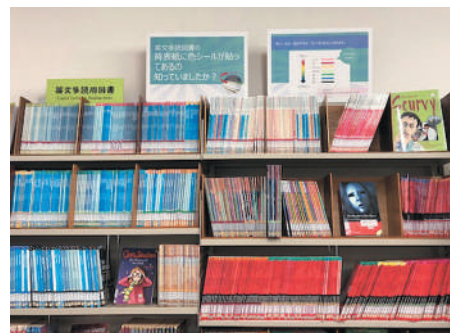
学外者 5冊 14日



企画展示コーナー

◀ 2階企画展示コーナーでは、学校生活に役立つご案内から読書を楽しむためのさまざまな企画を、時節ごとに展示しています。

▶ 3階英文多読コーナーでは、楽しみながら、たくさん読んで英語力を伸ばすための英文多読本を多数配架しています。



英文多読コーナー

学術情報サービス Science Information Services

電子資料・文献情報検索サービス

■主な電子ジャーナル

Science
ScienceDirect (Elsevier)
SpringerLINK (Springer)
Wiley Online Library (Wiley)
ACM Digital Library (ACM)
Nature
電子情報通信学会

■主な電子ブック

Maruzen eBook Library (丸善雄松堂)
EBSCOhost eBook Collection
ScienceDirect eBooks (Elsevier)
Springer eBooks (Springer)
Wiley Online Books (Wiley)
Wiley Online Reference Works (Wiley)
ProQuest Ebook Central

■主なデータベース

Web of Science (Clarivate Analytics)
Scopus (Elsevier)
JDreamIII (株ジー・サーチ)
CiNii (国立情報学研究所)
SciFinder(CAS)
SpringerMaterials (Springer)
SFX
Journal & Highly Cited Data (Clarivate Analytics)
EndNote basic (Clarivate Analytics)
Mendeley

レファレンスサービス

利用者が図書館を効率よく利用できるように様々な相談に応じています。

- 図書館や資料の利用方法
- 事項調査
- 必要な文献の探し方
- データベースの使い方
- 文献の所蔵調査
- 他の図書館や情報機関の利用案内及び紹介

文献複写

館内資料は、著作権法に従い、館内の複写機で文献複写を行うことができます。他大学図書館や国立国会図書館等、または国外に複写申し込みができます。

相互貸借サービス

学内にない資料は、学外から図書館を借り受けることができます。

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

国立国会図書館でデジタル化した資料のうち、絶版などの理由で入手困難な資料の本文画像を、館内で閲覧・複写することができます。

地域図書館との連携

豊橋市図書館、愛知大学図書館と提携しており、所蔵資料を相互に利用できます。

豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ <https://repo.lib.tut.ac.jp/>

豊橋技術科学大学学術機関リポジトリは、豊橋技術科学大学の構成員(教職員・学生)の作成した学術研究成果を収集・保存し、無償で広く世界に向けて発信していきます。インターネットで公開された学術研究成果は、Google、Google Scholarなどの検索エンジンやIRDB(学術機関リポジトリデータベース)、OAIsterなどの論文検索システムによって、世界中から利用可能となります。

■コンテンツ

学術機関リポジトリに保存し、公開する学術研究成果は、豊橋技術科学大学の構成員の作成した以下のようなあらゆる種類のものを対象としています。

- 学術雑誌論文
- 紀要
- 学位論文
- 会議発表論文・会議発表用資料
- 図書
- テクニカルレポート
- 研究データ
- 一般雑誌記事
- プレプリント
- 教材
- 研究報告書
- データベース
- ソフトウェア など

大型コレクション

Collections

ドイツ表現主義コレクション

表現主義とは、第一次世界大戦後に主としてドイツを中心に起こった芸術運動で、美術上の印象主義や文学上の自然主義では律しきれない大戦前後の社会不安を色濃く反映し、現実の再現、構成を捨てて、主観の表出や本質の探求が協調されました。本コレクションは、グローピウスとモホイ＝ナジ編集の'Bauhausbücher'オリジナル版を始め、時代に発行された雑誌のリプリント版、美術書、哲学書などが含まれ、表現主義運動の様々な側面がうかがえます。



19世紀英国議会文書：ブルー・ブック

英国議会資料のなかに、議会の活動に関して院の内外から提出された「ブルー・ブック」という資料があります。この資料には、産業革命の影響、政治組織の改革、奴隷制の廃止、植民地問題をはじめ19世紀英国の躍動の全過程が反映されており、「ブルー・ブックIUPシリーズ」は、膨大な原資料のうち、主要な社会・政治的資料を1,000巻にまとめ、

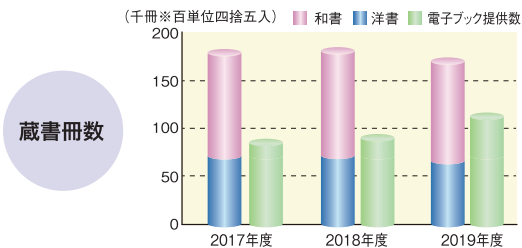


それらを項目ごとに年別別配列で分類・整理したものです。

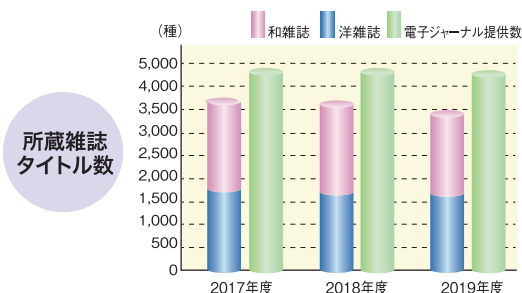
統計

Statistics of library

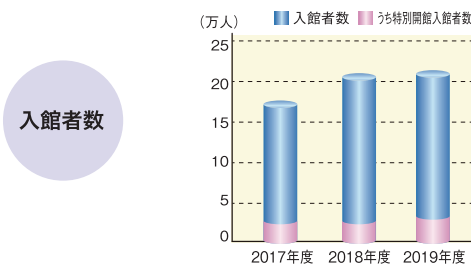
項目 / 年度	2017年度	2018年度	2019年度
蔵書冊数(冊)	170,883	171,549	169,341
和書(製本雑誌を含む)	106,389	106,910	104,838
洋書(製本雑誌を含む)	64,494	64,669	64,503



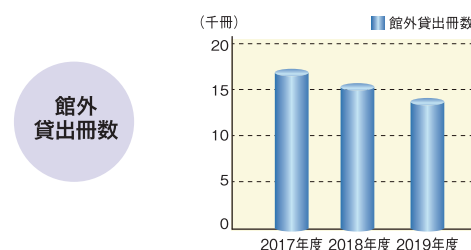
電子資料提供数			
電子ブック提供数(種)	8,740	8,993	12,144
電子ジャーナル提供数(種)	4,960	4,962	4,916
電子ジャーナルダウンロード件数(件)	169,981	166,164	158,022



所蔵雑誌タイトル数(種)			
和雑誌	1,983	1,872	1,753
洋雑誌	1,718	1,715	1,711



入館者数(人)	174,654	201,809	213,012
うち特別開館入館者数	35,544	42,852	47,521
うち学外者数	1,423	1,020	1,426



館外貸出冊数(冊)	17,920	15,253	14,407
-----------	--------	--------	--------

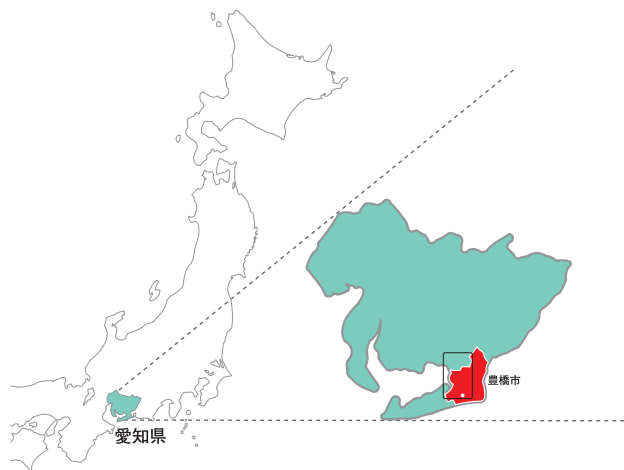


国立大学法人

豊橋技術科学大学

TOYOHASHI
UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

Campus Location



交通機関

豊橋駅前(東口)②番乗場から

豊鉄バス豊橋技科大線(技科大、福祉村方面行)に乗車。

技科大前で下車。〈所要時間:約25分〉



豊橋技術科学大学附属図書館

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
TEL.0532-44-6562 FAX.0532-44-6566
ホームページアドレス <http://www.lib.tut.ac.jp/>